



今月のトピック：【背徳グルメ】

高カロリーな食材をこれでもかと掛け合わせた、健康とは真逆の「背徳グルメ」。コロナ禍でたまったストレスの発散や、頑張った自分へのごほうびに幸福感と罪悪感を同時に味わえると人気です。山盛りの見た目のインパクトは SNS 映えも特徴のひとつ。飲食店にとっては集客効果も見逃せません。背徳感が経済を回していく姿に注目です。



才人の言葉

どんなに暗くても
星は輝いている

アメリカの思想家・詩人であるラルフ・ワルド・エマーソンの言葉。そして星は、太陽の光や青い空などにより見えないだけで、昼間でも輝きながらずっとそこにある。

衣類に染みついた防虫剤の臭いは気になりますね。これを取りたいときは、臭いが付いた洋服をハンガーにかけ、洋服全体にドライヤーの風を優しく当てます。温風でも冷風でもいいですが、ウールに温風を当てると生地が傷むため、ウールの場合は必ず冷風を！

知って得する知恵袋

振り向けばあそこにも「商売のヒント」 ここにも

今月の商売のヒント：【経営の神様の共通点】

「平成の経営の神様」稲盛和夫さんが亡くなりました。そのため「昭和の経営の神様」松下幸之助との共通点に言及した記事をよく目にします。最大の共通点は、経営に「哲学」を持ち込んだこと。この意見には深く納得しました。松下幸之助は「人間探求」と「宇宙の法則」を説き続けました。稲盛さんの経営哲学は、あの有名な「京セラフィロソフィ」です。その基本は「全社員の物心両面の幸福を追求」。経営破綻した JAL を再建するために乗り込んだときの「JAL フィロソフィ」の冒頭にも、この言葉が書かれていました。これは稲盛さんが実践を通して得た人生哲学であり、根底には「人間として何が正しいか」という問いかけがありました。物事を判断するとき、常に「これは人間として正しいか」を自分に問いかけていたのです。経営者としてはもちろんですが、稲盛さんが唱える「六つの精進」などを読むと、人間力の高さにも圧倒されます。「誰にも負けない努力をする」「謙虚にし



ておごらず」「反省のある毎日を送る」「生きていることに感謝する」「善行、利他行を積む」「感性的な悩みをしない」。立派すぎて引け目を感じてしまうほどですが、最も見習いたいところは未来を信じる力です。稲盛さんは常に「私には素晴らしい人生がひらかれている」と思い続けてきたそうです。「非常に単純なことですが、自分の未来に希望をいだいて明るく積極的に行動していくことが、仕事や人生をより良くするための第一条件」だと語っていました。つい不平不満を言いたくなるご時世ですが、希望を持ってとにかく行動することは、今この瞬間からできそうです。

トナリの本棚

【島さん】

コンビニで働くおじいさんが主人公の川野ようぶんどうの漫画です。サラッと読めるのにじんわり心が温まるヒューマンドラマ。元気がもらえる一冊です！



船越税理士法人

〒620-0054

京都府福知山市末広町 1-1-1 中川ビル 3 階

TEL: 0773-22-3708 FAX: 0773-22-7343

<http://www.f-office301.com>

E-mail: info@f-office301.com

皆様のご感想をお待ちしております